

人生の 土台をつくろう。

——最近の企業の採用傾向は、即戦力志向が高まり、若者がいかに目的意識を持っているかが重要視されているそうですね。

【東條】

はい。そこで私たちは、若者が社会に通用する能力を身に付けようと努力する時、それを応援する仕組みが不可欠だと思います。企業が求めているコミュニケーション能力やビジネスマナーなどを就職する前に身に付け、しっかりと土台をつくってほしいのです。

——そうすることで、若者の仕事に対する意識も高まるだけでなく、新たな可能性も発見できるかもしれないですね。

【東條】

私も、様々な方との出会いで、夢や希望を持って生きることの素晴らしさを知り、「私もこうなりたい!」という明確なビジョンを持ち続けてきました。今度は私が、人生の先輩のひとりとして、若者のお手本になりたいという強い思いで日々奮闘しています。

——「あなた」今後のビジョンは??

【東條】

生涯現役! 85歳までハイヒールを履き、スーツを着て、ビジネスの最前線にいたいことです。

TRAIN MESSAGE ③ ハロー! キャリア

これが私の生きる道

21世紀のビジョンとキャリアをつなぐ ~Linking Thinking~

84.2 FM西東京で好評オンエア中!! 毎週土曜 10:10~(再)18:10~ ■様々な職業人に「ビジョン」「キャリア」についてインタビューしていきます。

武蔵野大学は「キャリア開発プロジェクト」を実施しています。

Guest



東條 文千代 Fumichiyo Tojo

武蔵野女子大学(現・武蔵野大学)日本文学科卒業。
NPO法人日本人材教育協会理事長。専門は人材教育インストラクター養成、秘書実務、マナー接客、就職指導他。大学や企業での講師としてトータルな人材開発に携わる。

Interviewer

鈴木 貴子/武蔵野大学キャリア開発科目録編

——これから社会に飛び立つ若者に向けてメッセージはありますか?

【東條】

結婚・出産・親の介護など、どれも経験してほしいことです。人とのつながりを大切にして、声をかけられたら断らず、挑戦してみましよう。多くの経験は、みなさんを入として大きく成長させます。

——ありがとうございます。次回は、○○○業界で活躍している職業人にリンクします。お楽しみに。

知っとく! 裏話 就職支援業界編

採用のコンサルタントもしている東條さん。採用面接を受ける前の学生さんにお茶を出します。「いただきます」「ありがとうございます」「お辞儀をしながら言ったら◎だそうなんです。」「おちそうさま」「ありがとうございます」「ありがとうございました」があれば完璧!このような一言で、日常生活のすべてが判断できるとか。採用では、これまでどのように生きてきたかが問われます。「おはようございます」「ありがとうございます」「こめんなさい」は黄金の三つの言葉ですね。